

# 沖縄21世紀に30年



## 第8回

「農業」と「福祉」がつながって、  
地域共生社会の実現へ



### 農福連携とは

農福連携とは、障害者が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みです。農福連携に取り組むことで、障害者の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。

農業と福祉の双方が「Win・Win(ウィンウィン)」の関係を構築する取り組みであり、近年、全国各地において、様々な形態で確実に広がりを見せています。

### 農福連携のかたち

障害者が農業に携わる形態には、主に3つあります。

1つめが、農業者が障害者を雇用する形態です。障害者がスタッフに加わることで、職場の雰囲気が良いになる、組織力が上がるなどのメリットがいられています。

2つめに、障害者就労施設が農業に参入し、経営していく形態です。障害者の仕事の熱心さ、生産物の品質の良さが認められ、地元の理解が進み、農地が集積するなどの事例もあります。

3つめに、障害者就労施設が農業者から農作業を請け負う形態です。作業量に応じた依頼が可能で、障害者への指導も施設の支援員が同行して行います。

### 県の農福連携の取り組み

県では、「農福連携マルシェ」と称して、県内の障害者就労施設で生産された農産物や加工品を一堂に集めた販売会を開催しており、次回は令和2年3月頃に開催予定です。楽しみにお待ちください。

また、一般財団法人沖縄県セルプセンターでは、農業者と障害者就労施設とのマッチング支援を行っています。「収穫や出荷作業などの農作業を障害者就労施設に委託したいが、どこに依頼していいかわからない」といった相談に応じ、障害者就労施設を紹介します。お気軽にお問い合わせください。

農福連携は、障害のある人もない人も共に地域で暮らし、生きがいを創り、高め合うことができる地域共生社会の実現に向けた取り組みの一つです。皆さんも、農福連携に取り組んで見ませんか。



農福マルシェの様子



農福マルシェの様子

問い合わせ

一般財団法人沖縄県セルプセンター

電話:098-882-5663

広告